

令和2年度 活動報告

防災教育推進部門

1. はじめに

当センターでは、本人の防災力の向上や、地域防災に貢献する人を育てることを目的として、共通教育科目において科目を提供している。地域社会貢献のために、公開授業にも提供されており、一般社会人の受講も可能となっている。しかしながら、今年度はコロナ禍の影響により、公開授業は中止した。

この共通教育科目は「防災リーダーの育成」に関わる「防災士」養成の研修講座としても認定されている。これらの単位取得および別途救命講習の修了証取得によって、防災士の資格取得試験を受験できる。しかし、今年度はコロナ禍により対面授業が限られ、補習することになった。そして、現在、救急法の講習と資格取得試験にむけて準備している。

また、本年度も、教員免許状所持者のための教員免許状更新講習も開設し、実施した。

以上については、来年度もハイブリッド講義として引き続き実施するため、その準備作業を行っている。

2. 共通教育科目2科目の提供

(1) いのちと地域を守る防災学I (Disaster mitigation to guard lives and communities I)

開講期：前期／講義形式／2単位／大分類：教養教育科目(教養活用科目)／小分類：統合I(課題発見)／受講対象：全学部／担当教員：松成裕子他13人

授業概要：

授業では、自然災害やその対策について正しい知識を持つと同時に、地域自治体や防災組織が現在行っている防災への取り組みや新しい技術を理解し、災害時にはいのちを自ら守ることができ、かつ支援やボランティア活動を担うことのできる態度・志向性を獲得することを目的とする。この講義は、自然・人文に及ぶ複合的・総合的な「防災学」のかなりの範囲を網羅するものであり、本学のさまざまな学部・大学院・教育研究施設に所属する「防災学を専門とする教員」がそれぞれの得意分野をオムニバス形式で担当講義する。ただし、今年度は遠隔講義で実施した。

また、後期の「いのちと地域を守る防災学II」と対になる構成となっており、前期の本授業では、災害を知り、それに対する対処・対策を考えることに重きが置かれている。なお、この授業の概要・性格から本授業は、「防災士」受験資格取得科目の1つとなっている。

学習目標：

1. さまざまな自然災害の発生のしくみを始めとして、防災にかかわる知識や技術などを理解し、災害種ごとに説明できる。
2. 災害種ごとに一般的な対策・対処のしかたを理解し、地域の特性に応じておおよそ適当な対策などを選択できる。
3. 万が一に災害が生じた場合、いのちを自ら守ることができ、かつ支援やボランティア活動を担うことのできる態度・志向性を獲得する。

授業内容と担当者：

1. 歴史災害に学ぶ防災意識（教育学部；佐藤宏之）
2. 学校教育における防災教育の実情と課題（教育学部；黒光貴峰）
3. 鹿児島 naturally 災害史（共通教育センター；井村隆介）
4. 地震のしくみと被害（理工学研究科；小林励司）

5. 風水害と対策（理工学研究科;安達貴浩）
6. 社会基盤の地震被害（理工学研究科;木村至伸）
7. 避難と避難行動（地震火山地域防災センター;浅野敏之）
8. 島嶼の自然災害（共通教育センター;岩船昌起）
9. 土砂災害と対策（農学部;地頭菌隆）
10. 災害における医療活動（医学部;松成裕子）
11. 火山噴火のしくみと被害（地震火山地域防災センター；八木原寛）
12. 津波のしくみと被害（理工学研究科;柿沼太郎）
13. 自然体験活動と防災及び避難生活者の健康づくり支援について（共通教育センター；福満博隆）
14. 中山間地域における地盤災害と農地復旧対策（農学部;平瑞樹）
15. 防災士の役割について（医学部;松成裕子）

(2) いのちと地域を守る防災学 II (Disaster mitigation to guard lives and communities II)

開講期：後期／講義形式／2単位／大分類：教養教育科目(教養活用科目)／小分類：統合II(課題解決)／受講対象：全学部／担当教員：松成裕子他12人

授業概要：

授業では、自然災害やその対策について正しい知識を持つと同時に、地域自治体や防災組織が現在行っている防災への取り組みや新しい技術を理解し、災害時にはいのちを自ら守ることができ、かつ支援やボランティア活動を担うことのできる態度・志向性を獲得することを目的とする。この講義は、自然・人文に及ぶ複合的・総合的な「防災学」のかなりの範囲を網羅するものであり、本学のさまざまな学部・大学院・教育研究施設に所属する「防災学を専門とする教員」がそれぞれの得意分野をオムニバス形式で担当講義する。そして、今年度はハイブリッド講義として、防災士資格取得希望の学生については、対面授業とし、その他の学生へは遠隔授業にて実施した。

前期の「いのちと地域を守る防災学I」と対になる構成となっており、後期の本授業では、災害にかかわる情報を知り、新たな減災や危機管理の手法を身に着けることに重きが置かれている。また、鹿児島市消防局、鹿児島地方気象台、県危機管理課、県原子力安全対策課からの授業を用意しており、行政の防災関係機関の現場対応などを知ることができる。なお、この授業の概要・性格から本授業は、「防災士」受験資格取得科目の1つとなっている。

学習目標：

1. 災害にかかわる情報の種類やその発信・入手方法の概要を理解し、災害種や災害ステージ等に応じてそれらを説明できる。
2. 新たな減災や危機管理の手法を一般的なレベルで理解し、地域の特性に応じておおよそ適当な手法を選択できる。
3. 万が一に災害が生じた場合、いのちを自ら守ることができ、かつ支援やボランティア活動を担うことのできる態度・志向性を獲得する。

授業内容と担当者：

1. 講義の目的/災害における防災士の役割(医学部;松成裕子)
2. 大規模災害と情報通信I(学術情報基盤センター;升屋正人)
3. 大規模災害と情報通信II(学術情報基盤センター;升屋正人)
4. 気象災害の監視と予測(地震火山地域防災センター;眞木雅之)
5. 地震に関する知見・情報/災害と流言・風評(理工学研究科;小林励司)
6. 鹿児島県の災害と危機管理(鹿児島県危機管理防災課;松崎早博)
7. 自然災害に対する行政の危険防止責任(法文学部;森尾成之)
8. トラウマの理解と心理的ケアI(教育学部;関山徹)
9. トラウマの理解と心理的ケアII(教育学部;関山徹)
10. ハザードマップ(共通教育センター;井村隆介)
11. 福島第一原発事故の概要と放射線による健康影響(公益財団法人原子力安全研究協会放射線

- 災害医療研究所 研究員；山口拓允)
12. 地域の復旧と復興(法文学部;小林善仁)
 13. 鹿児島県の原子力防災対策(鹿児島県原子力安全対策課;西博夫)
 14. 火山の監視と防災情報(鹿児島地方气象台;大賀昌一)
 15. 災害報道・リスクコミュニケーション(南日本新聞;桐野秀吾)

(3) いのちと地域を守る防災学 II の特別な講義について

後期に開催される「いのちと地域を守る防災学 II」の1コマについては、環境省の「令和二年度放射線健康管理・健康不安対策事業（福島県外における放射線に係る健康影響等に関するリスクコミュニケーション事業）」として開催された。講師は、公益財団法人原子力安全研究協会放射線災害医療研究所研究員の山口拓允先生であり、環境省の放射線リスクコミュニケーション専門官としての活動を交え、「福島第一原発事故の概要と放射線による健康影響」と題し、放射線の健康影響について、考えさせられる講義であった。学生には、その後の鹿児島県の原子力防災対策の講義とともに原子力災害の防災を考える良い機会となった。

3. 防災士養成の取り組み

(1) 研修講座相当（認定）の共通教育科目の提供

2. の共通教育科目2科目について、日本防災士機構に研修講座相当と認定してもらう手続きを行った。今年度はコロナ禍の影響により、前期は、遠隔講義で実施されたが、防災士資格取得希望の学生が多く、対応策の情報収集を行った。しかし、防災士機構は、対面ではない授業は研修と認めないことから、後期講義は、ハイブリッド講義形式とし、防災士資格取得希望の学生は対面で実施し、その他の学生は遠隔講義で実施した。また、防災士試験の受験者が昨年は15名だったことから受験生が増えるように学生へ働き掛けた。その効果があっただけでなく、今年は目標の35名の受験生となった。

(2) 救命講習会の実施（予定）

防災士資格取得のために、指定された救急法の講習を修了する必要がある。今年度は、下記の定期救命講習を各自受講する予定としている。

赤十字社鹿児島県支部が行っている「救急法基礎講習」がある。

日 時：2021年3月7日（日）9：00～16：00、に実施予定である「救急法基礎講習」

場 所：鹿児島大学共通教育棟3号館1階の314号室

内 容：救命措置（胸骨圧迫・人工呼吸・AED使用）の実習、異物除去・回復体位の演習解説

講 師：各関係の講師等

受講者：防災士資格取得希望者35名および令和元年防災士資格取得者15名

(3) 防災士資格取得試験対策

防災士資格取得試験は、『防災士教本』の内容に基づいて行われる。2. の共通教育科目2科目では網羅できない部分があるため、その部分の学習が必要となる。

今年度は、それらを講義形式として、令和3年2月9日に補講し、試験対策とした。

(4) 防災士資格取得試験の実施（予定）

日 時：2021年3月28日（日）9:00～10:00

場 所：鹿児島大学共通教育棟4号館431号教室

実施者：日本防災士機構

受講者：防災士資格取得希望者37名

4. 教員免許状更新講習について

開設講習名：地域防災の最前線

実施日時：2020年8月7日 8:50～16:35

会場：鹿児島大学郡元キャンパス 教育学部第1講義棟（1階）101号教室

講師：本センター兼務教員：酒匂一成（理工学域・工学系）

齋田倫範（理工学域・工学系）

田松裕一（医歯学域・歯学系）

受講生：教諭，養護教諭，栄養教諭 43名